

試験・研究課題名

大課題名：漁業被害の軽減

小課題名：カワウ対策に関する研究

担当者名：研究員 谷沢 弘将

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	4 / 5	擬卵及び黒色防鳥糸の効果が示されており、目標は達成されている。現場での被害は継続しており、成果の普及に期待する。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	4 / 5	いずれの成果も県内の漁業被害の低減に有用である。県外からの飛来する鳥類に対する対策も検討して欲しい。
3 研究の発展性	5 / 5	広域管理が必要であり、県内外への成果の普及、活用に期待する。
4 研究課題選定の妥当性	4 / 5	課題の設定は妥当であり、今後も継続して研究を実施すべきである。
総合評価	4 / 5	広域的な対策と関係機関の緊密な連携が求められる。継続的な研究と成果の普及に期待する。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

今回の研究では、対策場所がカワウの集団繁殖地と養魚場に限定されていることから、河川、湖沼など野外での有効な防除対策についても検討する。

カワウ対策は広域的に取り組む必要があることから、県内だけではなく県外に普及させることも視野に入れた連携を進める。